

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成19年8月16日(2007.8.16)

【公開番号】特開2002-24192(P2002-24192A)

【公開日】平成14年1月25日(2002.1.25)

【出願番号】特願2000-211980(P2000-211980)

【国際特許分類】

G 06 F 15/177 (2006.01)

G 06 F 9/46 (2006.01)

G 06 F 13/00 (2006.01)

【F I】

G 06 F 15/177 6 7 4 A

G 06 F 9/46 3 6 0 C

G 06 F 13/00 3 5 7 Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年7月3日(2007.7.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数のユーザのシステムとネットワークを介して結合された計算機システムであって、処理要求パケット毎にそれがどのユーザに属するものかを識別するユーザ識別手段と、前記複数のユーザのシステムからの処理要求パケットにより処理を行うための相互に接続された複数の計算機を含む計算機システムにおいて、各ユーザに異なる計算機群を割り当てる計算機資源分割方法であって、

各ユーザ毎に、受信した処理要求パケットが該ユーザに属することの識別のために、送信元アドレス及び送信先アドレスを含む処理要求パケットに付随する複数のアドレスのいずれを用いるかの指定と、前記送信元アドレスと、前記送信先アドレスとを入力させ、指定されたアドレスとユーザとの対応をユーザ識別表に設定する手順と、

各ユーザと契約したサービスレベル条件をもとに、各ユーザ前記複数の計算機を分割して割り当て、各ユーザに対応する計算機群を規定した計算機割当て定義表を作成する手順と、

前記ユーザ識別表を参照して受信した処理要求パケットに対応するユーザを求め、前記計算機割当て定義表を参照して求められたユーザに割り当てられた計算機群を特定し、特定された計算機の一つに前記受信した処理要求パケットを転送する手順とを有することを特徴とする計算機資源分割方法。

【請求項2】

上記計算機システムは、上記複数の計算機に対して負荷を分散する手段をさらに含み、上記計算機割当て定義表は該負荷分散手段に設定されることを特徴とする請求項1の計算機資源分割方法。

【請求項3】

複数のユーザのシステムとネットワークを介して結合された計算機システムであって、処理要求パケット毎にそれがどのユーザに属するものかを識別するユーザ識別手段と、それぞれ個別のオペレーティングシステムにCPU時分割使用の比率と専用の計算機資源を割り当てて複数のLPARを形成するLPAR制御手段を備えた計算機とを含む計算機シス

テムにおいて、各ユーザに異なる論理区分を割り当てる計算機資源分割方法であって、

各ユーザ毎に、受信した処理要求パケットが該ユーザに属することの識別のために、送信元アドレス及び送信先アドレスを含む処理要求パケットに付随する複数のアドレスのいずれを用いるかの指定と、前記送信元アドレスと、前記送信先アドレスとを入力させ、指定されたアドレスとユーザとの対応をユーザ識別表に設定する手順と、

各ユーザと契約したサービスレベル条件をもとに、各ユーザに割り当てるL P A R のC P U 時分割使用の比率を設定し、前記入力された受信アドレスをネットワークアダプタ欄に設定したL P A R 割当て管理表を前記L P A R 制御手段に生成する手順とを有し、

前記ユーザ識別表を参照して受信した処理要求パケットから対応するユーザを求め、前記L P A R 割当て管理表の該ユーザに割り当てられたネットワークアダプタ欄に記録されたアドレスに前記受信した処理要求パケットを転送する手順を有することを特徴とする計算機資源分割方法。

【請求項4】

複数のユーザのシステムとネットワークを介して結合された計算機システムであって、前記複数のユーザのシステムからの処理要求パケットにより処理を行うための相互に接続された複数の計算機を含む計算機システムにおいて、各ユーザに異なる計算機群を割り当てる計算機資源分割方法であって、

各ユーザ毎に、使用する計算機数の上限値、及び下限値、割り当てられた計算機群の負荷の閾値を含むサービスレベル条件を入力させる、

上記サービスレベル条件の範囲内で各ユーザへの計算機群の割り当てを設定し、各ユーザからの処理要求パケットを分割投入し、

各ユーザに割り当てられた計算機群の負荷状態をモニタして、あるユーザに割り当てた計算機群の負荷が前記閾値よりも高く、該ユーザに割り当てた計算機群の計算機数が前記サービスレベル条件の計算機数の上限値より小さく、かつ空き計算機が前記計算機システムに存在していれば該ユーザに計算機を追加割り当てる特徴とする計算機資源分割方法。